



JBCnews

since 1970

【毎月1回1日発行・1部20円】

JBCニュース
第572号 2019年10月10日
昭和50年5月19日第三種郵便物認可

発行所
公益財団法人 全日本ボウリング協会
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
Japan Sport Olympic Square 511号室
03 (6804) 5605
<http://www.jbc-bowling.or.jp/>

ついに! 世界の頂点

世界シニアボウリング選手権大会 2019

吉国由美子が世界に3度目の挑戦で金メダルを獲得。前回大会のチーム戦銅メダルに続いて、着実なステップアップを遂げました。41もの国と地域が代表を送り出すほど、世界のシニアボウリングが熱を帯びている中、意識を高く挑戦した結果が現れました。シニア JAPAN の上昇気流はいっそう威力を強めることでしょう。

2~3面 世界シニア選手権大会2019
4~5面 日本スポーツマスターズ2019
6面 世界選手権大会女子大会2019
7~8面 ROUND1
GRAND CHAMPIONSHIP
BOWLING 2019

index

内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯 第48回

全国都道府県対抗ボウリング選手権大会

燃ゆる感動かごしま国体ボウリング競技リハーサル大会



燃ゆる感動かごしま国体
マスコット「ぐりふー」
01かごしま国体承認第1-20号

2019/11/1(金)▶4(月・祝)

サンライトゾーン

〒890-0068
鹿児島県鹿児島市東郡元町1-10
TEL 099-252-2552
FAX 099-252-2543

主催 (公財)全日本ボウリング協会 鹿児島市 鹿児島市教育委員会
燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会鹿児島市実行委員会
後援 スポーツ庁 (公財)日本スポーツ協会 鹿児島県 鹿児島県教育委員会
燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会
(公財)鹿児島県体育協会 鹿児島市体育協会 (一社)共同通信社
協力 日本ボウリング機構(JBO)
主管 鹿児島県ボウリング連盟

〒611-0042 京都府宇治市小倉町神楽田55番地1 TEL 0774-22-5524
<http://www.matsubara-kosan.co.jp/hall/bwl01.html>

日本の持ち味、発揮できず...



(左から) 谷原、入江、今井、佐藤、梶田、石本

世界選手権大会2019女子大会

世界選手権大会(2019女子大会)が8月24日(日)から30日(金)にかけて、アメリカ・ラスベガスで開催された。34の国と地域から女子のトップアスリート76名が集結。日本からも6名の代表選手が出場した。

最初の種目シングルズ戦で、ラスト2ゲームに235・235をマークした。順位も大幅に上がったが、4位と3位の間に2ゲームの差があり、決勝には届かなかった。前回大会(2017年)のこの種目優勝者、今井双葉(熊本)は第2グループで挑んだ。後半に235ゲームを続けるも予選通過ラインには遠く、連覇は果たせなかった。オイルパターン(Oil Pattern)が、自体の難易度は高くはな

かったが、初めて使用されたオイル(Oil)の質的にコントロールやパワーが求められるコンディションとなっていた。その中でシングルス戦は6名全員がまずまずのスコアを残して、悪くはない大会スタートだった。しかしメダルを狙うとなると、他チームのスコアを上回らなければならぬ。ダブルス戦では予選通過ラインは2706ピン。日本は今井・入江菜々美(三重)ペアの2496が最高で、危機感を感じ

た。一方で、個々の実力としては世界最高クラスの6人そろえていたシンガポールは、まとまりに欠ける印象で7位に終わっている。こうした隙をついてチーム種目で上位進出してきた日本だったが、今回は持ち味を発揮できなかった。

だが日本女子は、今井の前回大会シングルス優勝、入江の世界ユース選手権シングルス金メダルなど、個人種目での成果も目立つようになってきている。中でも昨年アジア競技大会のマスターズ戦を制した石本は大会も全体を通して安定感が光り、オールエベントで14位に入った。どの選手もレインコンディショニングに十分に把握した上で迎えたマスターズ戦、1回戦で石本はS・パサネン(フィンランド)と対戦した。先にダブルでリードした石本に対し、パサネンも後半2キーを決めて追いついた。しかし石本もパンチアウトで締めくくって216対205で1勝した。2ゲーム目も2度のダブルで優位に進めていた石本だったが、パサネンが終盤2キーで逆転して222。石本は214で、このゲームで勝負を決めることができなかった。

3ゲーム目はパサネンが先に2キーをマークした。石本はスプリットに悩まされてスコアを伸ばせず171に終わり、終盤さらにストライクを続けたパサネンが237で勝利。1回戦で姿を消すこととなった。

4種目の予選個人スコア合計がオールエベントのスコアとなり、上位24名がマスターズ戦に進出。3ゲームマッチ(2ゲーム先取制)のトーナメントを行う。進出時の順位が9位、24位の選手が1回戦で対戦し、勝者は1回戦シードの1位、8位選手と対戦。最後まで勝ち残った選手が優勝となる。

世界ボウリング連盟(WBPF)が主催する「世界選手権」は、男女大会と男子大会、女子大会、シングルス選手権の4大会、これを4年サイクルで実施しており、2019年は女子大会が開催された。各国・地域から6名の代表選手が出場し、シングルス戦、ダブルス戦、トリオ戦、チーム戦(5人制)、オールエベント(個人総合)とマスターズ戦でメダルを争った。

シングルス、ダブルス、トリオ、チームの各種目の上位4名(チームは人数×6ゲーム)の上位4名(チーム)が決勝に進出する。チーム戦はベーカー方式の1ゲームマッチ、他3種目は人数×1ゲームのマッチゲームでトーナメントを行い、セミファイナル(3位決定戦)の敗者は2名(チーム)ともに銅メダルを獲得する。

《シングルズ戦》予選27G ⇒ 決勝トーナメント
予選順位
第1位 Lee, Nayoung(大韓民国) 1,410
第2位 McEwan, Danielle(77/9) 1,371
第3位 Andersson, Sandra(スウェーデン) 1,401
第4位 O'Keefe, Shannon(77/9) 1,392
第5位 石本 美来(日本・広島) 1,311
第6位 今井 双葉(日本・熊本) 1,272
第7位 佐藤 悠里(日本・神奈川) 1,253
第8位 入江菜々美(日本・三重) 1,222
第9位 谷原 美来(日本・三重) 1,220
第10位 梶田ひかる(日本・三重) 1,195
《ダブルス戦》予選2×6G ⇒ 決勝トーナメント
予選順位
第1位 コロンビア 2,758
第2位 スウェーデン 2,706
第3位 韓国 2,729
第4位 アメリカ 2,727
第5位 日本(今井・入江) 2,496
第6位 日本(谷原・梶田) 2,440
第7位 日本(石本・佐藤) 2,371
《トリオ戦》予選3×6G ⇒ 決勝トーナメント
予選順位
第1位 コロンビア 6,113
第2位 韓国 3,962
第3位 アメリカ 4,010
第4位 メキシコ 3,978
第5位 日本(石本・今井・入江) 3,707
第6位 日本(谷原・梶田・佐藤) 3,463
《5人チーム戦》予選5×6G ⇒ 決勝トーナメント
予選順位
第1位 アメリカ 6,750
第2位 コロンビア 6,341
第3位 メキシコ 6,371
第4位 スウェーデン 6,353
第5位 日本(石本・今井・入江・梶田・佐藤) 5,881
《オールエベント》24G
第1位 Rodriguez, Maria(ドミニカ) 5,488
第2位 Persson Planfors, Joline(スウェーデン) 5,425
第3位 O'Keefe, Shannon(77/9) 5,422
第4位 石本 美来(日本・広島) 5,221
第5位 今井 双葉(日本・熊本) 4,858
第6位 入江菜々美(日本・三重) 4,831
第7位 佐藤 悠里(日本・神奈川) 4,769
第8位 梶田ひかる(日本・三重) 4,696
第9位 谷原 美来(日本・三重) 4,487
《マスターズ戦》
第1位 Tan, Cherie(シンガポール) 5,488
第2位 Rodriguez, Maria(ドミニカ) 5,425
第3位 Pasanen, Sanna(フィンランド) 5,422
第4位 McEwan, Danielle(77/9) 5,221
第5位 石本 美来(日本・広島) 4,858
第6位 今井 双葉(日本・熊本) 4,831
第7位 入江菜々美(日本・三重) 4,769
第8位 佐藤 悠里(日本・神奈川) 4,696
第9位 梶田ひかる(日本・三重) 4,487
第10位 谷原 美来(日本・三重) 4,487
佐藤 悠里(神奈川・湘南ボウル)
今井 双葉(熊本・フジクラプレジション)
梶田ひかる(三重・伊賀上野ケブルレーンズ)
入江菜々美(三重・公財)三重県体育協会
谷原 美来(三重・南百五銀行)
石本 美来(広島・JFEスチール)



オープニングセレモニーで行進

だが日本女子は、今井の前回大会シングルス優勝、入江の世界ユース選手権シングルス金メダルなど、個人種目での成果も目立つようになってきている。中でも昨年アジア競技大会のマスターズ戦を制した石本は大会も全体を通して安定感が光り、オールエベントで14位に入った。どの選手もレインコンディショニングに十分に把握した上で迎えたマスターズ戦、1回戦で石本はS・パサネン(フィンランド)と対戦した。先にダブルでリードした石本に対し、パサネンも後半2キーを決めて追いついた。しかし石本もパンチアウトで締めくくって216対205で1勝した。2ゲーム目も2度のダブルで優位に進めていた石本だったが、パサネンが終盤2キーで逆転して222。石本は214で、このゲームで勝負を決めることができなかった。

3ゲーム目はパサネンが先に2キーをマークした。石本はスプリットに悩まされてスコアを伸ばせず171に終わり、終盤さらにストライクを続けたパサネンが237で勝利。1回戦で姿を消すこととなった。

4種目の予選個人スコア合計がオールエベントのスコアとなり、上位24名がマスターズ戦に進出。3ゲームマッチ(2ゲーム先取制)のトーナメントを行う。進出時の順位が9位、24位の選手が1回戦で対戦し、勝者は1回戦シードの1位、8位選手と対戦。最後まで勝ち残った選手が優勝となる。

シングルス、ダブルス、トリオ、チームの各種目の上位4名(チームは人数×6ゲーム)の上位4名(チーム)が決勝に進出する。チーム戦はベーカー方式の1ゲームマッチ、他3種目は人数×1ゲームのマッチゲームでトーナメントを行い、セミファイナル(3位決定戦)の敗者は2名(チーム)ともに銅メダルを獲得する。

《シングルズ戦》予選27G ⇒ 決勝トーナメント
予選順位
第1位 Lee, Nayoung(大韓民国) 1,410
第2位 McEwan, Danielle(77/9) 1,371
第3位 Andersson, Sandra(スウェーデン) 1,401
第4位 O'Keefe, Shannon(77/9) 1,392
第5位 石本 美来(日本・広島) 1,311
第6位 今井 双葉(日本・熊本) 1,272
第7位 佐藤 悠里(日本・神奈川) 1,253
第8位 入江菜々美(日本・三重) 1,222
第9位 谷原 美来(日本・三重) 1,220
第10位 梶田ひかる(日本・三重) 1,195
《ダブルス戦》予選2×6G ⇒ 決勝トーナメント
予選順位
第1位 コロンビア 2,758
第2位 スウェーデン 2,706
第3位 韓国 2,729
第4位 アメリカ 2,727
第5位 日本(今井・入江) 2,496
第6位 日本(谷原・梶田) 2,440
第7位 日本(石本・佐藤) 2,371
《トリオ戦》予選3×6G ⇒ 決勝トーナメント
予選順位
第1位 コロンビア 6,113
第2位 韓国 3,962
第3位 アメリカ 4,010
第4位 メキシコ 3,978
第5位 日本(石本・今井・入江) 3,707
第6位 日本(谷原・梶田・佐藤) 3,463
《5人チーム戦》予選5×6G ⇒ 決勝トーナメント
予選順位
第1位 アメリカ 6,750
第2位 コロンビア 6,341
第3位 メキシコ 6,371
第4位 スウェーデン 6,353
第5位 日本(石本・今井・入江・梶田・佐藤) 5,881
《オールエベント》24G
第1位 Rodriguez, Maria(ドミニカ) 5,488
第2位 Persson Planfors, Joline(スウェーデン) 5,425
第3位 O'Keefe, Shannon(77/9) 5,422
第4位 石本 美来(日本・広島) 5,221
第5位 今井 双葉(日本・熊本) 4,858
第6位 入江菜々美(日本・三重) 4,831
第7位 佐藤 悠里(日本・神奈川) 4,769
第8位 梶田ひかる(日本・三重) 4,696
第9位 谷原 美来(日本・三重) 4,487
《マスターズ戦》
第1位 Tan, Cherie(シンガポール) 5,488
第2位 Rodriguez, Maria(ドミニカ) 5,425
第3位 Pasanen, Sanna(フィンランド) 5,422
第4位 McEwan, Danielle(77/9) 5,221
第5位 石本 美来(日本・広島) 4,858
第6位 今井 双葉(日本・熊本) 4,831
第7位 入江菜々美(日本・三重) 4,769
第8位 佐藤 悠里(日本・神奈川) 4,696
第9位 梶田ひかる(日本・三重) 4,487
第10位 谷原 美来(日本・三重) 4,487
佐藤 悠里(神奈川・湘南ボウル)
今井 双葉(熊本・フジクラプレジション)
梶田ひかる(三重・伊賀上野ケブルレーンズ)
入江菜々美(三重・公財)三重県体育協会
谷原 美来(三重・南百五銀行)
石本 美来(広島・JFEスチール)

全高優勝を知事に報告
JOCジュニアオリンピックカップ第43回全日本高校選手権大会で優勝した原野萌花選手(福岡・福岡第一高校)が、福岡県の小川洋知事に優勝報告をした。この夏に全国大会を制した同校の剣道部、バスケットボール部とともに、9月12日(木)に福岡県庁を訪れ、小川知事よりねぎらいの言葉をかけられた原野選手。今後も出場予定の大会に向けて練習をがんばると気持ちを新たに誓った。

原野選手と小川知事(中央)

連盟トップピックス

全日本大学実業団王座決定戦
桑名市役所が頂点に
2019年度全日本大学・実業団王座決定戦が9月15日(日・16日・月・祝)に京都・キョーイチボウル宇治(公競No.126・063)で開催された。ともにチーム戦をメインに据えながら、対決の機会が少ない全日本学生連合と全日本実業団連合、強豪チームがこの大会に集まり、王座を争った。

3人チーム戦で予選9ゲームのスコア上位16チームが決勝に進出。ベーカー方式でシフトアウトマッチ、トーナメント戦を繰り返して、桑名市役所(三重)が優勝を遂げた。

【大会成績】
①桑名市役所(庄瀬・小原・柳川) ②岡山商科大学(高良・山川・菊地) ③青森中央学院大学(西山・齋藤・大下内) ④京都実業団OBクラブ(高橋・田倉・市川) ⑤久世ペロゾ工業所(河合・脇坂・田中) ⑥京都産業大学(唐・後・谷口) ⑦北陸電力石川支店(渡邊・渡邊・和泉) ⑧北海道・東北学連連合(傳法谷・松田・長谷川)

2019 関東地区実業団リーグ開幕
関東地区実業団8チームによる「関東地区実業団リーグ2

優勝の桑名市役所

盛り上がった懇親会

8チームが参加

原野選手と小川知事(中央)

男子シニア



女子シニア



決勝進出18名のうち、まず6名が優勝決定戦へ。ファイナル進出枠(8名)を埋めるため、2回戦のスコア上位者2名が敗者復活となった。昨年グランドチャンピオンに輝いた村上(広)もエントリー。優勝決定戦まで順当に勝ち上がりファイナル

男子シニア

9月13日(金)はシニアとグランドシニアの各部門、14日(土)は男女のレギュラー部門が行われた。まず予選4ゲームを行い決勝トーナメント出場者を決定した。決勝の1回戦は3人のグループで1ゲームマッチを行い、上位2名が勝ち上がる。2回戦は同グループの勝ち上がり2名が1ゲームで対決し、優勝決定戦は各グループから勝ち上がった全員が一斉対決で順位を決定した。

女子シニア

出場権を得た。優勝したのは村上武男(神奈川)。グランドシニアに出場できる年齢ながら、意識高くシニア部門に挑戦して勝利して見せた。

男子グランドシニア

12名が決勝に進み、優勝決定戦は4名+敗者復活2名の6名で行われた。2回戦で214をマークするも敗れた遠藤邦夫(福島)が、優勝決定戦でも216を打って優勝を果たした。

男子グランドシニア



男子レギュラー



女子グランドシニア

決勝進出は9名。この部門は予選1位を除く8名が2名1組で1回戦を行い、勝者と1位選手、敗者復活1名の6名で優勝決定戦を行った。1位通過の平田千鶴子が193をマークして接戦を制した。

男子レギュラー

24名が決勝に進み、優勝決定戦は敗者復活なしの8名で行われた。ジュニア世代も含め年齢制限のない部門だけに、ベスト8には名前の知れた選手が多く顔をそろえた。優勝するには相応のスコア

女子グランドシニア



女子レギュラー



アも必要となり、235をマークした小牧辰矢(大阪)が勝利した。

1ス石本美来(広島)と同キヤプテン佐藤悠里(神奈川)との1回戦に競り負けて、連覇への道が絶たれる波乱となった。優勝決定戦の顔触れにはベテランもジュニアも。男子同様実力伯仲の勝負の末、薄窪夢叶(愛知)が優勝。賞金70万円を獲得した。

斎藤祐太	206
高淵玲志	193
長澤 椋	140
久富木 広	195
守屋雄斗	224
佐藤宇宙	195
井口遼太	180
小牧辰矢	235



小牧辰矢

吉本隆夫	197
増田一義	203
西島浩一	212
村上武男	225
宮内利夫	202
村上一広	203
浦野文明	200
南川義弘	158



村上武男

遠藤邦夫	216
石島哲也	153
岩上 昇	187
村山雅信	195
大城戸和義	193
竹内隆司	183



遠藤邦夫

今井双葉	224
石本美来	219
大久保幸江	175
渡辺希理	202
薄窪夢叶	226
入江菜々美	182
武部公英	170
水谷秋穂	197



薄窪夢叶

西村沙池子	182
吉田由美子	176
川口尚美	188
河東嘉子	144
山崎明美	186
鈴木英子	187
伊東千枝子	181
宮倉祐子	157



川口尚美

笠間まり	152
飯田昌子	165
小野昭恵	169
川俣すみ子	184
竹本佐知子	189
平田千鶴子	193



平田千鶴子

ガイド

門のグランドチャンピオンを決定する。

▽男子シニア
優勝20万円
総額40万円(12位まで)

▽女子シニア
優勝20万円
総額40万円(12位まで)

▽男子グランドシニア
優勝10万円
総額20万円(8位まで)

▽女子グランドシニア
優勝10万円
総額20万円(8位まで)

▽男子レギュラー
優勝70万円
総額140万円(16位まで)

▽女子レギュラー
優勝70万円
総額140万円(16位まで)

NBF(日本ボウラーズ連盟)、JBA(公益社団法人日本プロボウリング協会)とJBCの共催大会。各団体が予選会(選抜大会)と決勝大会を実施して決定した代表選手が、11月9日(土)に東京・ラウンドワン南砂店(公認No.113)で開催される。

▽男子シニア
優勝20万円
総額40万円(12位まで)

▽女子シニア
優勝20万円
総額40万円(12位まで)

▽男子グランドシニア
優勝10万円
総額20万円(8位まで)

▽女子グランドシニア
優勝10万円
総額20万円(8位まで)

▽男子レギュラー
優勝70万円
総額140万円(16位まで)

▽女子レギュラー
優勝70万円
総額140万円(16位まで)

男子レギュラー
小牧辰矢

女子レギュラー
薄窪夢叶



総額400万円&ファイナル出場権争う



男子グランドシニア
遠藤邦夫

女子グランドシニア
平田千鶴子



男子シニア
村上武男

女子シニア
川口尚美



講習もしっかりと

全日本ナショナルチーム・下地賀寿守監督による出張スペシャルレッスン「ボウリングキャラバン」。2019年度が9月7日(土)に群馬・ドリムスタジアム太田(公競No.110・036)からスタートしました。群馬が本拠地のナショナルメンバー、宮澤拓哉、渡辺莉央、近藤真樹の3名もレッスンのサポート役で登場。彼らに続けと奮闘中のキッズボウラーが参加者の大半を占めました。

群馬・茨城会場 大盛況

下地賀寿守監督の
ボウリングキャラバン



熱い指導の下地監督

翌8日(日)は茨城・フジ取手ボウル(公競No.108・008)での開催。開幕を間近に控えた茨城国体の会場でもあり、こちらもジュニア世代の参加者が目立ちました。

まずはレッスンビデオを見て下地監督がポイントを解説し、レーンではケガを予防するためのストレッチをしてから投球練習へ。下地監督が一人ひとりの投球を見て、上達のコツを伝授していき

ました。

2019年度の開催はあと4回。お近くの方はぜひご参加ください。

▽11月30日(土) サンフラワーボウル(岡山県倉敷市)

▽12月1日(日) しんじ湖ボウル(鳥根県松江市)

▽2020年1月25日(土) OBSボウル(大分県大分市)

▽2020年1月26日(日) サンライツ

スポーツくじ



前回グランドチャンピオンも参戦



シビアな代表決定戦に

SPORTS ENTERTAINMENT
ROUND1
GRAND CHAMPIONSHIP
BOWLING
JAPAN 2019
ラウンドワングランドチャンピオンシップボウリング

賞金総額
3,000万円!!

アマチュアでも賞金獲得のチャンスがある!